

## カテゴリー

---

歩行

## タイトル

---

肥満と Gait Initiation

Center of pressure displacements during gait initiation in individuals with obesityPubMed

Cau N et al.(2014)

## なぜこの論文を読もうと思ったのか？

---

・APA s の振る舞いについて学習しており、様々な条件でどう変化をするのかに興味を持ち、本論文に至る。

## 内 容

---

### 目的

・研究目的は、GI 歩行開始時の順序全体にわたる空間的 - 時間的パターンを定量的に特徴づけることで歩行開始（GI）に及ぼす肥満の影響を調べることであった。

### 結果

・研究では、肥満群と対照群との間に COP パターンの相違が存在しないことを質的に観察した。

・同じ先行姿勢調整戦略を取ったが、肥満者の平均 CoP 軌道は、正常体重の CON 群と比較して広がった。

・より長い APA の長さおよび持続時間をもたらし、これは CON 群と比較し APA2a の間に統計的に有意である。さらに、APA1 および LOC の期間が長くなることが判明した。

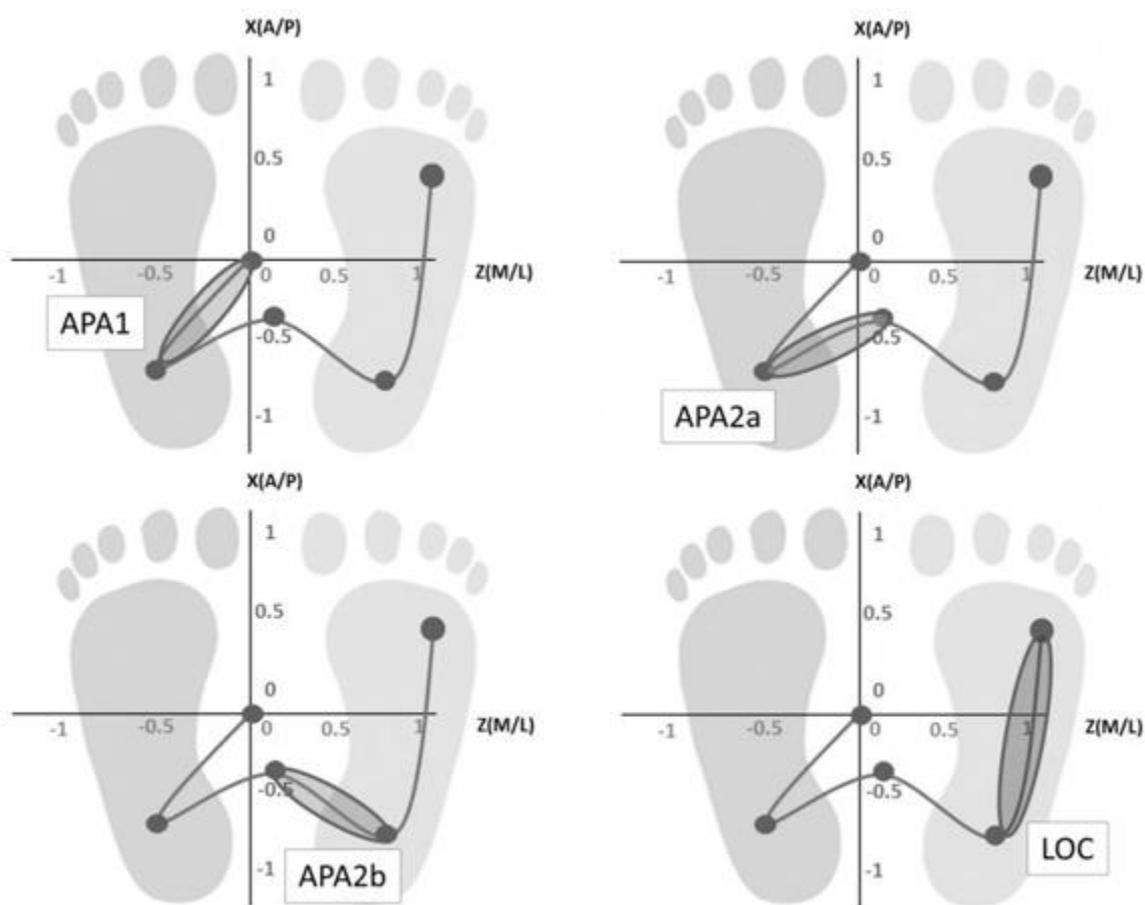


Figure 2  
Centre of Pressure (COP) trajectory division for the analysis (APA1, APA2a, APA2b, LOC). The initial foot is the right foot.

・大きな差が APA1 および APA2a に存在することは注目に値する。LOC に関しては、CON 群よりも肥満者の方が長いことがわかった。

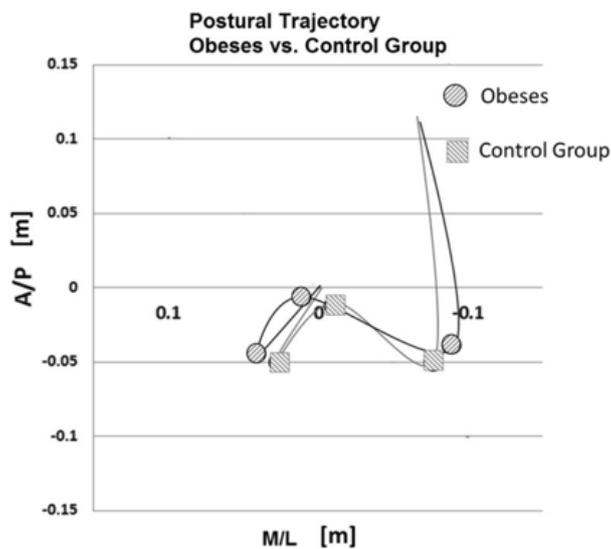


Figure 3  
Postural trajectory comparison between obese and control group. Minimum and maximum points are marked with circles for obese and with squares for the control group.

・リハビリの観点から興味深いものであり、肥満者は前後方向および特に横方向のバランスを特に改善することを目的とした運動プログラムを開発した方が良いエビデンスを提供するからである。

### 私見・明日への臨床アイデア

---

・肥満者では、その重量のコントロールからか、より広い CoP の振る舞いを GI にて示した。肥満者では、より細かなバランス ex またはその重量を減少させるようにトレーニングに取り組む必要が示唆される。重量は姿勢制御に影響を与える因子であることが分かった。

氏名 shuichi kakusho

職種 理学療法士

---